

## §5.3 根号・絶対値記号が現れる不等式

定理 5.1.7 を思い起こして下さい：任意の実数  $a$  と  $b$  について、 $a^2 < b^2$  かつ  $b \geq 0$  ならば、 $a < b$  .

**例題** 3 と  $\sqrt{7}$  との大小関係を調べる.

$$3^2 = 9, \quad \sqrt{7}^2 = 7. \quad \sqrt{7}^2 < 3^2 \quad \text{なので,} \quad \sqrt{7} < 3. \quad \text{終}$$

**問題 5.3.1** 7 と  $4\sqrt{3}$  との大小関係を調べなさい.

**問題 5.3.2**  $\frac{13}{3}$  と  $3\sqrt{2}$  との大小関係を調べなさい.

一般的に次の定理が成り立ちます.

**定理 5.3.1** 0 以上の実数  $a, b$  について,

$$a < b \iff \sqrt{a} < \sqrt{b},$$

$$a \leq b \iff \sqrt{a} \leq \sqrt{b}.$$

**証明** 例として “ $a < b \iff \sqrt{a} < \sqrt{b}$ ” を証明する.  $\sqrt{a} \geq 0, \sqrt{b} \geq 0$  . また、定理 1.6.2 より、 $\sqrt{a^2} = a, \sqrt{b^2} = b$  .  $a < b$  ならば、 $\sqrt{a^2} < \sqrt{b^2}$  , 定理 5.1.7 より  $\sqrt{a} < \sqrt{b}$  . 逆に、 $\sqrt{a} < \sqrt{b}$  ならば、定理 5.1.6 より  $\sqrt{a^2} < \sqrt{b^2}$  つまり  $a < b$  . (証明終り)

定理 1.6.3 を思い起こして下さい：  $a \leq 0$  である任意の実数  $a$  について  $\sqrt{a^2} = -a$  .

**例題**  $(\sqrt{7}-3)^2$  を計算する. その結果を用いて  $\sqrt{16-6\sqrt{7}}$  を計算する.

$$(\sqrt{7}-3)^2 = \sqrt{7}^2 - 2 \cdot 3\sqrt{7} + 3^2 = 7 - 6\sqrt{7} + 9 = 16 - 6\sqrt{7}.$$

$7 < 3^2$  なので  $\sqrt{7} < \sqrt{3^2} = 3$  , よって  $\sqrt{7}-3 < 0$  なので,

$$\sqrt{16-6\sqrt{7}} = \sqrt{(\sqrt{7}-3)^2} = -(\sqrt{7}-3) = 3-\sqrt{7}. \quad \text{終}$$

**問題 5.3.3**  $(2-\sqrt{5})^2$  を計算し、その結果を用いて  $\sqrt{9-4\sqrt{5}}$  を計算しなさい.

実数  $a$  について、例えば  $a=5$  のとき、 $|a|=|5|=5$  なので  $|a|=a$  です；また例えば  $a=-3$  のとき、 $|a|=|-3|=3$  なので  $|a| > a$  です. このように、 $|a|=a$  となる場合と  $|a| > a$  となる場合とがあります；両方の場合を併せると  $|a| \geq a$  です.

**定理 5.3.2** 任意の実数  $a$  について  $a \leq |a|$  .

**証明** 定理 1.7.4 より  $|a|^2 = a^2$  なので、定理 1.5.1 より  $|a|^2 \geq a^2$  ; 更に  $|a| \geq 0$  なので、定理 5.1.7 より  $|a| \geq a$  . (証明終り)

実数  $a$  と  $b$  について、

$$\text{例えば } a=5, b=3 \text{ のとき } |a+b|=8=|a|+|b|,$$

$$\text{例えば } a=5, b=-3 \text{ のとき } |a+b|=2 < |a|+|b|,$$

$$\text{例えば } a=-5, b=3 \text{ のとき } |a+b|=2 < |a|+|b|,$$

$$\text{例えば } a=-5, b=-3 \text{ のとき } |a+b|=8=|a|+|b|.$$

このように、 $|a+b|=|a|+|b|$  または  $|a+b| < |a|+|b|$  なので、 $|a+b| \leq |a|+|b|$  .

**定理 5.3.3 (三角不等式)** 任意の実数  $a$  と  $b$  について  $|a+b| \leq |a|+|b|$  .

**証明**

$$\begin{aligned} (|a|+|b|)^2 - |a+b|^2 &= |a|^2 + 2|a||b| + |b|^2 - (a+b)^2 \\ &= a^2 + 2|ab| + b^2 - (a^2 + 2ab + b^2) = 2|ab| - 2ab \\ &= 2(|ab| - ab). \end{aligned}$$

定理 5.3.2 より  $|ab| \geq ab$  なので  $|ab| - ab \geq 0$  , よって  $2(|ab| - ab) \geq 0$  なので、

$$(|a|+|b|)^2 - |a+b|^2 \geq 0,$$

$$(|a|+|b|)^2 \geq |a+b|^2.$$

$|a| \geq 0, |b| \geq 0$  より  $|a|+|b| \geq 0$  .  $(|a|+|b|)^2 \geq |a+b|^2$  かつ  $|a|+|b| \geq 0$  なので、定理 5.1.7 より  $|a|+|b| \geq |a+b|$  . (証明終り)

**問題 5.3.4** 三角不等式の証明に倣って次のことを証明しなさい：任意の実数  $a$  と  $b$  について  $|a-b| \geq |a|-|b|$  .

例えば、実数  $x$  について、 $|x| < 3$  となることは、 $x$  の値が  $-3$  より大きく  $3$  より小さいことつまり  $-3 < x < 3$  となることです：

$$|x| < 3 \iff -3 < x < 3.$$

また例えば、実数  $x$  について、 $|x| > 3$  となることは、 $x$  の値が  $-3$  より小さいかまたは  $3$  より大きいことです：

$$|x| > 3 \iff x < -3 \text{ または } x > 3.$$

一般的に次の定理が成り立ちます.

**定理 5.3.4** 任意の実数  $a$  と  $b$  について、

$$|a| < b \iff -b < a < b,$$

$$|a| \leq b \iff -b \leq a \leq b.$$

**証明** 例として “ $|a| < b \iff -b < a < b$ ” を証明する.

まず、 $|a| < b$  と仮定する. 定理 5.3.2 より  $a \leq |a|$  , この不等式と仮定  $|a| < b$  より  $a < b$  . また、定理 5.3.2 と定理 1.7.5 とより  $-a \leq |-a| = |a|$  , この不等式と仮定  $|a| < b$  より  $-a < b$  ; 従って  $-b < a$  .  $a < b$  かつ  $-b < a$  なので、 $-b < a < b$  .

逆に、 $-b < a < b$  と仮定する.  $a \geq 0$  のときと  $a < 0$  のときに場合分けする.  $a \geq 0$  のときは、定理 1.7.1 より  $a = |a|$  , 仮定より  $a < b$  なので  $|a| < b$  .  $a < 0$  のときは、定理 1.7.1 より  $|a| = -a$  , また仮定より  $-b < a$  なので  $-a < b$  , 従って  $|a| < b$  . つまりどちらのときも  $|a| < b$  . (証明終り)

**定理 5.3.5** 任意の実数  $a$  と  $b$  について、

$$|a| > b \iff a > b \text{ または } a < -b ;$$

$$|a| \geq b \iff a \geq b \text{ または } a \leq -b .$$

**証明** 例として “ $|a| > b \iff a > b \text{ または } a < -b$ ” を証明する.

$|a| > b$  と仮定する. 定理 1.5.2 より、 $a \geq 0$  または  $a < 0$  .  $a \geq 0$  のとき、定理 1.7.1 より  $|a| = a$  なので、仮定  $|a| > b$  より  $a > b$  .  $a < 0$  のとき、定理 1.7.1 より  $|a| = -a$  なので、仮定  $|a| > b$  より  $-a > b$  よって  $a < -b$  . 従って  $a > b$  または  $a < -b$  .

逆に、 $a > b$  または  $a < -b$  と仮定する.  $a > b$  のとき、定理 5.3.2 より  $|a| \geq a$  なので、定理 1.5.1 より  $|a| > b$  .  $a < -b$  のとき、 $b < -a$  , 定理 5.3.2 と定理 1.7.5 とより  $-a \leq |-a| = |a|$  なので、定理 1.5.1 より  $b < |a|$  . 従って、 $a > b$  のときも  $a < -b$  のときも、 $|a| > b$  . (証明終り)

0 以上の実数  $a$  と  $b$  に対して、 $\frac{a+b}{2}$  を  $a$  と  $b$  との相加平均といい、 $\sqrt{ab}$  を  $a$  と  $b$  との相乗平均といいます. 相加平均と相乗平均の大小関係について、次の定理が成り立ちます.

**定理 5.3.6**  $a \geq 0, b \geq 0$  である任意の実数  $a$  と  $b$  について  $\frac{a+b}{2} \geq \sqrt{ab}$  ; 等号が成り立つのは  $a=b$  のときに限る.

**証明**  $a \geq 0, b \geq 0$  より  $ab \geq 0$  , 従って  $\sqrt{ab^2} = ab$  なので、

$$\begin{aligned} \left(\frac{a+b}{2}\right)^2 - \sqrt{ab^2} &= \frac{a^2 + 2ab + b^2}{4} - ab = \frac{a^2 + 2ab + b^2 - 4ab}{4} = \frac{a^2 - 2ab + b^2}{4} \\ &= \frac{1}{4}(a-b)^2. \end{aligned}$$

$(a-b)^2 \geq 0$  より  $\frac{1}{4}(a-b)^2 \geq 0$  なので、

$$\left(\frac{a+b}{2}\right)^2 - \sqrt{ab^2} \geq 0,$$

$$\left(\frac{a+b}{2}\right)^2 \geq \sqrt{ab^2}.$$

$a \geq 0, b \geq 0$  より  $\frac{a+b}{2} \geq 0$  .  $\left(\frac{a+b}{2}\right)^2 \geq \sqrt{ab^2}$  かつ  $\frac{a+b}{2} \geq 0$  なので、定理 5.1.7 より、 $\frac{a+b}{2} \geq \sqrt{ab}$  .

$\left(\frac{a+b}{2}\right)^2 - \sqrt{ab^2} = \frac{1}{4}(a-b)^2$  より、 $\frac{a+b}{2} = \sqrt{ab}$  のとき、 $\frac{1}{4}(a-b)^2 = 0$  , 従って

$a=b$  . 逆に  $a=b$  のとき、 $\frac{a+b}{2} = \frac{a+a}{2} = a$  ,  $a \geq 0$  なので  $\sqrt{ab} = \sqrt{a^2} = a$  , 従って  $\frac{a+b}{2} = \sqrt{ab}$  . 故に、 $a=b$  のときに限り  $\frac{a+b}{2} = \sqrt{ab}$  . (証明終り)

**例題** 任意の正の実数  $x$  について  $\frac{x}{5} + \frac{45}{x} \geq 6$  となることを示し、等号が成り立つ条件を調べなさい.

【方針】 相加平均と相乗平均との大小関係を用いる.

【解答】  $\frac{x}{5} \geq 0$  かつ  $\frac{45}{x} \geq 0$  なので、相加平均と相乗平均との大小関係より

$$\frac{\frac{x}{5} + \frac{45}{x}}{2} \geq \sqrt{\frac{x}{5} \cdot \frac{45}{x}} = \sqrt{9} = 3.$$

従って  $\frac{x}{5} + \frac{45}{x} \geq 6$  . 等号が成り立つ条件は、 $\frac{x}{5} = \frac{45}{x}$  , つまり  $x = \sqrt{5 \cdot 45} = \sqrt{5^2 \cdot 3^2} = 15$  . (証明終り)

**問題 5.3.5** 任意の正の実数  $x$  について  $\frac{x}{45} + \frac{20}{x} \geq \frac{4}{3}$  となることを示し、等号が成り立つ条件を調べなさい.